

豊中市市民ホール
令和2年度（2020年度）
事業報告書

令和3年5月

豊中市市民ホール指定管理者

JTB・日本センチュリー・日本管財・大阪共立グループ

豊中市市民ホール 令和2年度（2020年度）事業報告書

【目次】

1. はじめに（事業の総括）	2
2. サービスレベル評価項目の目標達成状況について	4
3. 市民ホールの基幹事業（文化振興事業）に関する業務	5
1）人材育成・ボランティア組織コーディネート事業	5
2）鑑賞事業の企画・実施	5
3）普及育成事業、その他の事業	9
4. 施設の運営に関する業務	13
①貸館事業（施設の提供）	13
ア）施設利用状況表	13
イ）施設来館者数集計表	13
ウ）各施設の利用状況について	15
②情報提供事業	16
ア）地域文化芸術情報の受発信	16
イ）ホール情報誌やホームページ等を通じた施設情報の提供 等	16
③相談事業	16
ア）施設利用に関する相談・アドバイス業務の実施	16
イ）専門人材によるディレクターズ・オフィス機能の活用	16
ウ）アーティスト・アーカイブス（登録アーティスト制度）の活用 等	17
④「友の会」運営業務	17
⑤広報・宣伝事業	17
ア）施設 WEB ページの運営	17
イ）情報誌、催事情報カレンダーの作成・発行	18
ウ）施設パンフレット、利用案内リーフレットの作成	18
エ）チラシ・ポスター等の作成	18
オ）フェイスブック・ツイッターなど SNS による広報・宣伝活動	18
5. 施設及び設備の維持管理に関する業務	20
①舞台の管理に関する業務	20
②施設および設備の維持管理に関する業務	20
③行政財産の使用について（コミュニケーションロビーならびにビュッフェの活用）	21
④託児サービス及びキッズルーム	21
6. 運営組織についての報告（職員の研修の取り組みなど）など	22
7. 収支報告書	24

1. はじめに（事業の総括）

豊中市市民ホール指定管理者 JTB・日本センチュリー・日本管財・大阪共立グループは豊中市より豊中市市民ホール指定管理者として指定を受け、「豊中市市民ホールの管理運営に関する基本協定書」、「同年度協定書」および、「令和2年度事業計画書」に基づき、施設の管理運営業務を行った。基本協定書第25条の規定に基づき、指定管理者による豊中市市民ホールの令和2年度業務実績を以下の通り報告する。

市民ホール指定管理第一期最終年度にあたる本年度は、これまでの成果や課題を十分にふまえた総まとめの期間と位置づけ、各業務の取り組みを推進したが、昨年度末から全国で広がった新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けることになり、年間を通じて計画変更や業務内容の見直しを余儀なくされた。

事業運営においては、市文化芸術推進プラン（改訂版）の進捗状況等を把握し、目標やサービス水準の達成に向けた業務を推進するとともに、市の新たな文化芸術推進基本計画や次期指定管理を見据えた仕組みづくりに取り組んだ。施設運営においても利用者視点のサービス提供や催事支援等の活動に取り組むことで、施設機能の提供において一定の成果を得ることができたと考える。

一方で、緊急事態宣言にともなう休館対応をはじめ、貸館キャンセルや公演催事の延期および中止等が多発し、それらへの諸対応や業務に追われることとなった。国はじめ府、市の基準や関連団体のガイドラインにもとづく措置とあわせて、消毒作業や飛沫対策など館内における感染防止策を徹底することで、安全で安心な施設環境の維持に努めた。結果、年間を通じてクラスターや事故等を発生させることなく、利用者や市民サービスへの影響を最小限にとどめることができた。

文化振興事業の取り組みでは、前年度より開始した人材育成事業「とよなか ARTS ワゴン」を本年度も継続し、外部プログラムディレクターによる実践的な研修プログラムの提供を通して、1期生3名、2期生2名のレジデント・アーティストの育成に取り組んだ。ただ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、本事業からのアウトリーチ実施校は1校（3コマ）のみとなった。そのような環境下ではあったが、1期生3名は市民ホールスタッフとの協働でオリジナル動画を作成し、センター公式 YouTube チャンネルを活用したコンテンツの提供に努めた。広報・宣伝事業の新たな取り組みとして、施設情報誌「aperitif（アペリティフ）」の内容やデザインを一新した。コラムやインタビューの占める割合を多くすることで、中止や延期公演が続くなかでも読み物として楽しめ、また市民ホール事業に関心を持つきっかけを提供できるように努めた。

なお、4月から7月までの主催公演は、前述の通り新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または延期対応とし、その後も中止あるいは次年度以降への延期の判断をせざるを得ない公演が多数発生した。その中で8月に開催した「おんがくのしつもんばこ」は、多方面の協力を得て、無観客公演としてライブ配信を行った。インターネットを通じてのべ200

人余りがリアルタイムで視聴したほか、ライブ配信後にはアーカイブ視聴を可能にすることで、来場が困難な市民に対して音楽にふれる機会を提供することが出来た。

8月からは各種ガイドラインや国等の開催基準に沿った感染症対策を十分にとりながら順次公演を再開した。11月には、大ホール客席収容率100%で「神田伯山独演会」および「春風亭一之輔独演会」を実施したが、その他の公演では概ね収容率50%基準での実施となった。本年度の集大成的イベントとなった「こどもクラシックの日」「TRANCE MUSIC FESTIVAL」などホール独自性の高い公演では、制限のある状況下でありながら多数の参加者を迎えることができたとともに、いずれの公演も高い水準の公演成果を得ることができたと考える。

友の会「club CaT」の運営では、チケットの先行予約や優待販売だけでなく、入会キャンペーン施策や近隣優待店舗等との連携による優待サービスの拡充、また情報誌に近隣優待店舗をまとめたマップを掲載するなど、年間を通じて会員増を図る活動に取り組んだ。会員数の獲得においては、公演の延期中止等が大きく影響し、目標とするサービス水準を達成することができなかった。

施設管理業務においては、各施設とも館内における感染防止策を徹底するとともに、常に施設の良好な状態を維持すべく適切な施設管理に努めた。年間を通じて大きな事故やトラブルもなく、市民の快適で安全な利用についても成果を残すことができたと考える。

事業収支および経営面では、新型コロナウイルス感染症に起因し、収入および支出ともに大きな影響を受けることとなった。収入の部では施設利用キャンセルや主催事業の延期、中止により、利用料金収入および事業収入が大幅に減少した。利用料金収入は計画比64%、事業収入は計画比41%となり、総収入で計画比84%、約81,956千円の減収となった。支出の部では主催事業の延期、中止による事業費の大幅減少（事業財源良化）とあわせて、休館や稼働減の影響により光熱水費等の維持管理費が大幅に減少したことで、人件費、事務経費を含む総支出で計画比90%、約53,519千円の支出減となった。

精算の部では、新型コロナウイルス感染拡大防止を理由にキャンセルした際の還付相当額、および過去収入実績をもとにした市設定基準を下回る額について、補填措置がとられた。あわせて、事業財源良化相当分および光熱水費等の維持管理費良化分、国の助成金活用による人件費良化分については指定管理料の戻入を行った。結果、精算の部を含む市民ホール全体の決算としては、支出額が収入額より若干上回る収支結果となった。

各事業および業務の取り組み実績については以下に項を分けて報告を行うが、いくつかの計画、項目で目標水準未達など課題を残した。本年度を含む第一期指定管理期間の成果と課題を改めて検証することで、さらなるサービス水準の維持向上につなげるとともに、引き続き地域の文化芸術振興や文化的公共性を支える事業体として、心豊かな市民生活や活力ある地域社会の実現への貢献を果たしたい。

2. サービスレベル評価項目の目標達成状況について

サービスレベル評価項目	要求水準	R2年度目標	R2年度実績	目標達成率
① 4 ホールの年間平均利用率	70%	82.5%	62.0%	75.2%
② 大会議室、会議・講座室の利用率	70%	82.5%	61.1%	74.1%
③ 3 施設年間来場者	381,000人	530,000人	162,327人	30.6%
④ ホール事業平均参加率	50%	70.0%	70.0%	100.0%
⑤ 友の会年間増加数（有料会員数）	毎年300人増	4,200	934	22.2%
⑥ 無料WEB会員数 ※提案項目	-	13,000	3,428	26.4%

豊中市市民ホールの指定管理業務開始にあたり設定した「令和2年度サービス水準目標」の達成状況について以下の通り確認する。

- ① 4 ホールの年間平均利用率は、62.0%（前年 87.5%）となり年度目標値を大きく下回る数値となった。ホール別では文化芸術センター小ホールが 82%（前年 100%）と市要求水準値超、かつ 4 ホールで最も高い数値を記録したが、中ホール 58.5%前年（89.1%）、ローズ文化ホール 55.8%（前年 78.7%）、大ホール 51.5 %（前年 82.3%）と、いずれも目標値を下回る数値で推移した。前述の通り、年間を通じて新型コロナウイルスの影響による利用キャンセルが多数発生し、利用日数、利用件数の減少とあわせて、全額還付の特別措置により利用料金収入が前年度に比して大きく減少した。
- ② 展示室、多目的室の利用率は 2 施設平均で 61.1%（前年 78.1%）と、ホール平均利用率と同様に市要求水準を達成することができなかった。施設別では多目的室の利用率が 66.1%（前年 84.2%）、展示室の利用率が 56.1%（前年 72.0%）で推移し、ホール平均利用率の減少と概ね同じ傾向となった。次年度については、展示室や多目的室機能を十分に活かした主催催事での活用のほか、引き続き広報活動の充実に努めることで各施設の利用促進に努めたい。
- ③ 3 施設の年間来場者数は 162,327 人（前年 477,148 人/前年比 34.0%）と、市要求水準を大きく下回る結果となった。減少は新型コロナウイルスの影響によるものであるが、前年比 34.0%と施設利用率の減少幅に比して大きく減少した要因としては、各施設の客席収容率制限や催事の無観客開催のほか、利用者の来場控えなどが大きく影響したと考える。

- ④ホール（鑑賞型）事業の平均参加率は70.0%と昨年度（64.1%）より微増し目標水準を達成した。なお、参加率算出の対象事業はホールを会場（TRANCE MUSIC FESTIVAL 一部公演は展示室、多目的室）とする鑑賞型事業とし、客席設定数は各公演とも新型コロナウイルスの影響による収容率制限後の数値を基準としている。大ホールでのクラシックコンサートや映画上映など一部の公演では低い参加率となったが、鑑賞事業全体としては目標水準を達成することができ、コロナ禍における市民への芸術文化鑑賞機会の提供において一定の成果につながった。次年度もコロナ禍におけるさまざまな制限が想定されるが、幅広いジャンルにおける事業参加率の向上を図っていきたい。
- ⑤友の会年間増加数については、令和3年3月末で有効会員数が934人と市要求水準未達となった。次年度以降は改めて広報活動やサービス内容の拡充を図るとともに、友の会の位置づけや制度設計についても検討していく必要があると認識している。

3.市民ホールの基幹事業（文化振興事業）に関する業務

1）人材育成・ボランティア組織コーディネート事業

平成30年度より人材育成事業としてスタートした「とよなかARTS ワゴン」は、令和元年3月に実施したオーディションにより選出された2名を、新たにレジデント・アーティスト2期生として迎えた。4月から6月にかけては、市民向けに開催したアートマネジメント講座研修の中止に伴い、1期生にはそれぞれ動画コンテンツの制作を課し、8月より順次文芸センター公式YouTubeチャンネルにて公開した。また9月には前年度3月に開催予定だった「こどもクラシックの日」での公演を多目的室で延期開催、それに加え、1期生3名出演のコンサートも2月に実施した。

2期生は、7月にアウトリーチの実施に関するアートマネジメント講座を受講後、12月に4日間連続で行ったアウトリーチ合宿で自身のプログラム制作研修を行った。令和3年度にはランスルー（通し稽古）の実施によるプログラムのさらなる向上とあわせて、2期生の市内小学校におけるオリジナルのアウトリーチプログラムの実施を予定している。

また、これまで開催した「アートマネジメント講座」の受講者を対象にした「市民アートコーディネーター育成プログラム」は、本年度の「アートマネジメント講座（一般公開）」が中止となったことを考慮し、新たに募集を行わなかった。既にプログラムに参加した4名のコーディネーターの活動は、令和3年度以降に再始動をすることとしたい。

地域文化や市民ホールの運営を支える市民の育成を目標に、平成28年度より取り組んでいる市民参加によるボランティア組織（サポートクルー）のコーディネート事業は、活動4年目を迎えたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、年間通して活動数が減少することとなった。次年度以降、再研修の機会提供とあわせてプログラムの再構成に取り組みたい。

2）鑑賞事業の企画・実施

本年度の鑑賞事業は、これまでの公演企画とは一線を画すラインナップかつ多様性あるプログラム構成を意図し、さまざまな事業を展開した。11月の伝統芸能公演には、全国で

高い人気を誇る講談師および落語家を招聘した。10月の「声の TRANCE モリニハイル」では、声や呼吸を使うパフォーマンス集団“つむぎね”に加え、前年度3月の「はなむけ展」に出展予定だったファイバーアート・イノベーターのカヨサトの協力を得て公演を構成した。声や呼吸をパフォーマンスに用いながら、観客と出演者との距離を確保し飛沫を拡散させないような、新型コロナウイルス対策としても機能する舞台装置が可能となった。また衣装や出演時のマスクも総合的に演出され、結果としてより独創性かつ創造性の高い複合的公演の創造につながった。

日本センチュリー交響楽団の楽団員によるリサイタルシリーズおよび室内楽シリーズでは、新たな試みに取り組んだ。リサイタルシリーズでは、従来より独創的なプログラムを意図していたが、9月「日高剛ホルンリサイタル」、3月「巖崎友美ヴァイオリンリサイタル2」とともに新作の初演を行うなど、今を生きる作曲家たちの作品上演の機会を積極的に提供した。また、室内楽シリーズの「ヴィオラアンサンブル」は、普段はオーケストラの一部として認識している楽器であるヴィオラに着目した公演として、ヴィオラ奏者5名出演による豊中でしか体験できないプログラムとなり好評を得た。

さらに、本年は豊中にゆかりのあるアーティストとの協働のプログラムを積極的に開催した。2月には「TRANCE MUSIC FESTIVAL」の一環として開催した「時間の TRANCE」には、世界的なピアニスト黒田亜樹が出演した。また中止となってしまったが4月開催予定だった「豊中ゆかりのクリエイター展」や8月開催予定だった「新宮晋展」は地域ゆかりの人材を広く紹介する契機となりうる事業であった。今後も豊中にゆかりのあるアーティストや表現者との協働を積極的に図っていきたい。

大学連携における新規の取り組みとして、令和元年度より京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）との連携事業を開始したが、本年度は大阪音楽大学と大阪大学との事業連携の取り組みとなった。7月の大阪大学との連携事業は開催することが出来たが、1月の大阪音楽大学との連携事業は、コロナ禍におけるリスクを考慮し、大学側と協議のうえ公演延期とした。新型コロナウイルス感染症への対策が必要な状況が続く中でも、さらなる発展性や広がりをもつ事業企画となるよう今後も各大学との連携を図っていきたい。

4月から7月までは新型コロナウイルス感染症の影響で、すべての公演が延期または中止となり、その後も緊急事態宣言の発令などに伴い、公演の延期あるいは中止せざるを得ない状況となった。このような状況は令和3年度以降も続くことが想定される。また、これまでの劇場に対するものとは、確実に意識や評価が変わっていることは明白であり、市民ホールとしても、「with コロナ」時代における新しい鑑賞モデルの構築や事業展開を引き続き検討していかなければならないと考えている。

鑑賞事業の概要は次表の通り。

【鑑賞事業実施一覧】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料 上段：一般 下段：会員	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
1	ジャズ	小ホール	スサンナ・アレクサンドラ with ヨーナス・ハーヴィスト	5/29	主催	公演中止	-	-	-
2	ミュージカル	大ホール	ベネッセの英語コンサート2020夏	6/6	共催	公演中止	-	-	-
3	クラシック	大ホール 他	ITF 国際トロンボーンフェスティバル2020	7/2～ 7/5	主催	公演中止	-	-	-
4	クラシック	小ホール	にほんのうた Vol.7	7/14	主催	公演中止	-	-	-
5	伝統芸能	大ホール	桂米朝一門会	8/21	主催	3,000円 2,700円	445	209	47.0%
6	クラシック	中ホール	セイジオザワ松本フェスティバル スクリーンコンサート	8/21	共催	公演中止	-	-	-
7	舞踊	大ホール	With Love From Malakhov ～マラーホフより愛をこめて～	8/22	主催	2021年に公演延期	-	-	-
8	クラシック	小ホール	西川茉莉奈ヴァイオリンリサイタル	9/1	主催	公演中止	-	-	-
9	クラシック	小ホール	名倉誠人マリンバコンサート	9/1	主催	3,500円 3,000円	87	73	83.9%
10	クラシック	中ホール	日高剛ホルンリサイタル	9/15	主催	3,500円 2,500円	87	73	83.9%
11	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.15	9/19	共催	5,000円 4,000円 4,500円 3,500円	654	523	80.0%
12	クラシック	展示室	【代替公演】 声のTRANCE つむぎね モリニハイル	10/3 10/4	主催	1,800円 1,500円	60	62	103.3%
13	その他	ローズ	ローズ文化ホール 庄内体育館コラボフェスティバル	10/18	主催	公演中止	-	-	-
14	ポップス	大ホール	サラ・オレイン	10/25	共催	公演中止	-	-	-
15	クラシック	大ホール	オペラ「夕鶴」（演奏会形式）	10/31	主催	公演中止	-	-	-
16	伝統芸能	大ホール	神田松之丞改メ神田伯山独演会	11/6	主催	3,800円 3,500円	1,306	1,287	98.5%
17	舞踊	大ホール	SHIROCO フラメンコ公演	11/17	共催	公演中止	-	-	-
18	伝統芸能	大ホール	春風亭一之輔独演会	11/20	主催	3,800円 3,500円	890	597	67.1%
19	伝統芸能	大ホール	DRUM TAO「祭響」	11/15	共催	7,800円	1,306	732	56.0%
20	ジャズ	中ホール	FM COCOLO JAZZ WAREHOUSE	11/27	主催	映像アーカイブ 無料視聴	-	-	-
21	クラシック	大ホール	第3回 豊中市民第九演奏会	12/12	主催	公演中止	-	-	-
22	クラシック	多目的室	だがつきスイッチ クリスマスコンサート in 豊中	12/20	主催	1,000円 500円	80	80	100.0%
23	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.14	1/7	共催	5,000円 4,000円 4,500円 3,500円	654	228	34.9%
24	クラシック	小ホール	にほんのうた Vol.8	1/8	主催	2,500円 2,000円	174	95	54.6%

豊中市市民ホール令和2年度事業報告書

25	クラシック	大ホール	ヤノシュ・オレイニチャクピアノリサイタル2020	1/19	主催	3,800円 2,800円 3,500円 2,500円	654	228	34.9%
26	クラシック	多目的室	【代替公演】 TRANCE MUSIC FESTIVAL 2021 ピアノとパーカッションのTRANCE	1/28	主催	公演中止	-	-	-
27	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.16	1/31	共催	5,000円 4,000円 4,500円 3,500円	654	499	76.3%
28	クラシック	小ホール	センチュリー室内楽シリーズ Vol.7ヴィオラアンサンブル	2/5	主催	3,000円 2,000円	87	84	96.6%
29	クラシック	大ホール	アーティストwithセンチュリー	1/31	共催	公演中止	-	-	-
30	クラシック	大ホール	ドラゴンクエストスペシャルコンサート 交響曲「ドラゴンクエストVIII」	2/13	共催	5,000円 4,000円 4,500円 3,500円	654	554	84.7%
31	クラシック	展示室	TRANCE MUSIC FESTIVAL 2021 時間のTRANCE -NINETY MINUTES-	2/20	主催	3,000円 2,000円	70	65	92.9%
32	クラシック	大ホール	日本センチュリー交響楽団Presents 交響曲 獵祭	2/27	共催	8,500円 5,500円 8,000円 5,000円	800	554	69.3%
33	クラシック	小ホール 展示室	TRANCE MUSIC FESTIVAL 2021 ①レガシーのTRANCE-KONTAKTE- ②クラブミュージックのTRANCE	3/6	共催	3,000円、2,000円 2,800円、1,800円	180	173	96.1%
34	クラシック	大ホール	ドラゴンクエストスペシャルコンサート 交響曲「ドラゴンクエストXI」	3/7	共催	公演中止	-	-	-
35	朗読	大ホール	コトノハ ものがたりの世界2021	3/7	共催	公演中止	-	-	-
36	クラシック	小ホール	【代替公演】 にほんのうた Vol.6	3/16	主催	2,500円 1,800円	174	166	95.4%
37	クラシック	小ホール	巖崎友美ヴァイオリンリサイタル2	3/23	主催	2,500円 1,800円	87	63	72.4%
38	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズVol.17	3/27	共催	5,000円 4,000円 4,500円 3,500円	654	453	69.3%
39	映画	中ホール	とよキネマ「あん」	4/17	主催	公演中止	-	-	-
40	映画	中ホール	とよキネマ「愛の調べ」	5/9	主催	公演中止	-	-	-
41	映画	中ホール	とよキネマ「家へかえろう」	6/19	主催	公演中止	-	-	-
42	映画	中ホール	とよキネマ「引越し大名」	7/17	主催	公演中止	-	-	-
43	映画	小ホール	とよキネマ「この世界の片隅に」	8/7	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	261	49	18.8%
44	映画	中ホール	とよキネマ「家族」	9/11	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	672	372	55.4%
45	映画	中ホール	とよキネマ（10月）	10/9	主催	公演中止	-	-	-

46	映画	中ホール	とよキネマ「グリーンブック」	11/13	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	672	252	37.5%
47	映画	中ホール	とよキネマ（12月）	12/4	主催	公演中止	-	-	-
48	映画	中ホール	とよキネマ（1月）	1/15	主催	公演中止	-	-	-
49	映画	中ホール	とよキネマ（2月）	2/19	主催	公演中止	-	-	-
50	映画	中ホール	とよキネマ（3月）	3/5	主催	公演中止	-	-	-

3) 普及育成事業、その他の事業

本年度に実施した普及育成事業は「クラシック音楽の普及」「子ども・若年層対象事業」「市民参加型」の大きく3つに分類される。

クラシック音楽の普及の取り組みとして、センチュリー豊中名曲シリーズの開演前に多目的室で行う「プレパフォーマンス&トーク」を9月、1月、3月に3回開催した。そのうち新作2作品の創作、初演の機会を提供することができた。観客は本企画の演奏を体験し、日本センチュリー交響楽団の本公演を聴くことになり、同時代に生まれた現存作家による作品と古典作品とを同時に体験することで、新たな視点で公演を楽しみ、作品理解を得られる機会となることを意図している。来年度も上記の経験を本公演鑑賞者以外にも広く提供出来るよう、オンラインでの配信も視野に入れ同事業を継続していきたい。

子ども・若年層向け事業の取り組みでは、(公財)地域創造「公共ホール音楽活性化支援事業」を活用したアウトリーチ活動とコンサートを一体化した「まちのおとシリーズ」の実施とあわせて、毎年恒例の「こどもクラシックの日」を開催した。前者は市内小学校2校にてアウトリーチを実施、コンサートではその際に作成した豊中オリジナルの楽曲も演奏された。前年度は台風接近による悪天候のためアウトリーチ活動のみとなり、コンサートは中止となったため、前年度に制作した豊中オリジナルの楽曲の初めての演奏の機会を得ることができた。前年度および本年度のアウトリーチ先の児童の興味関心を喚起し、例年より多くの来場者を獲得できた。後者は、サテライトイベントとして、8月にライブ配信「おんがくのしつもんばこ」を開催し、SNSで事前に募集した音楽に対する疑問や、コメント機能を利用しリアルタイムで質問に、作曲家やプロの音楽家が答えるというより双方向性を確保した内容となった。

9月には新型コロナウイルスの影響で中止となったレジデント・アーティストによる公演を実施した。加えて、11月には映像と音のワークショップを実施。同じく11月より子どもたちとプロの音楽家が協同でコンサートを制作する連続ワークショップを開始した。連続ワークショップに関してはプロの音楽家と協同できる貴重な体験を提供したワークショップとして、参加者から好評を得た。3月の市民ホール全館を利用した事業までに複数の形態の異なる企画を実施したことにより、市民ホールが「子ども向け・若年層対象事業」を継続的に取り組んでいるというイメージの定着、広く市民への印象づけにつながり、新型コロナ

ウイルスの影響下においても、一定の来場者数の獲得成果を得ることができた。

市民参加型事業の取り組みでは、毎年恒例の「針山愛美ダンスプロジェクト」を実施。一度に集まる人数を制限するため、1つのコースを2つに分け、12月から開始したワークショップには90名近くの市民が参加した。3月の成果発表公演も本年度は開催でき、参加者からは満足感・充足感を大いに得たとの感想を得た。

以上の通り、普及育成事業の取り組みの一部は開催中止、あるいは施設に来場する以外の動画配信などに変更となってしまったが、これまでも年間を通じてオリジナリティある事業を継続的に展開しており、今後も引き続き音楽や創造をテーマにした事業に取り組んでいきたい。

普及育成事業の概要は次表の通り。

〔普及育成事業実施一覧〕

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料 上段：一般 下段：会員	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
51	普及育成	多目的室	センチュリー豊中名曲シリーズ プレバフォーマンス&トーク ※1/7に延期した豊中名曲Vol.14では実施なし	9/19 1/31 3/27	主催	無料	260	240	92.3%
52	普及育成	展示室	豊中まつり共催事業	8/2	共催	公演中止	-	-	-
53	普及育成	多目的室	【代替公演】 レジデントアーティストによるこどもクラ	9/21	主催	500円 800円	180	156	86.7%
54	普及育成	中ホール	地域創造 公共ホール音楽活性化支援事業	12/10 ～ 12/12	主催	500円 800円	224	215	96.0%
55	普及育成	小ホール	とよなかARTSワゴンショーケース	2/21	主催	1,500円 1,000円	87	90	103.4%
56	普及育成	センチュ リーハ ウス	こどもクラシックの日サテライト 「作曲家・加藤正則のおんがくのしつもんばこ」	8/5	主催	無料	-	-	-
57	普及育成	諸室	とよなかARTSワゴン	7/18 7/25	主催	無料（非公開） 出演者・関係者のみ	-	-	-
58	普及育成	大ホール	Be on the Stage	10/10	共催	参加費 5,000円ほか	50	74	148.0%
59	普及育成	大ホール	左手のピアノ演奏、作品普及振興とコンクールへ向 けの認知向上事業	12/1	共催	映像収録（非公開）	-	-	-
60	普及育成	大ホール	公文協シアターアーカイブス 日本センチュリー交響楽団&野村誠 ポストワーク ショップ作品集	1/22 2/22 2/23	共催	映像収録（非公開）	-	-	-
61	普及育成	小ホール	大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻連携事業 「ANDARTS」	1/13	共催	公演中止	-	-	-
62	普及育成	中ホール	舞台ワークショップ	-	主催	公演中止	-	-	-
63	普及育成	ローズ	世界のしょうない音楽祭	1/17	共催	無料（非公開） 出演者・関係者のみ	-	-	-
64	普及育成	中ホール 他	針山愛美ダンスプロジェクト Vol.4	3/13	主催	1,000円 800円	224	218	97.3%
65	普及育成	全館	こどもクラシックの日2021	3/20 3/21	主催	1,800円ほか 1,500円ほか	1,500	1,429	95.3%

【ロビーコンサート】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料 上段：一般 下段：会員	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
66	ロビー コンサート	大ホール ホワイエ	ロビーコンサート レジデントアーティスト若井亜妃子によるコンサート	5/28	主催	公演中止	-	-	-
67	ロビー コンサート	展示室	ロビーコンサート 特別編 ルミエール トロンボーンカルテット&リズム	9/1	主催	無料	40	62	155.0%
68	ロビー コンサート	展示室	ロビーコンサート Vol.29 大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻ブ ロデュース公演	9/9	主催	無料	100	99	99.0%
69	ロビー コンサート	多目的室	ロビーコンサートVol.30 日本センチュリー交響楽団楽団員による室内楽	2/11	主催	無料	40	46	115.0%
70	ロビー コンサート	展示室	ロビーコンサート Vol.31 大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻ブ ロデュース公演	2/24	主催	無料	60	45	75.0%
71	ロビー コンサート	多目的室	ロビーコンサートVol.32 センチュリー・ユースオーケストラによる弦楽四重奏	3/11	主催	無料	60	35	58.3%

【展示事業一覧】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料 上段：一般 下段：会員	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
72	展示	展示室	豊中ゆかりのクリエイター展	4/24 ～ 5/9	主催	開催中止	-	-	-
73	展示	展示室	大阪大学連携事業「なんやこりやEXPO' 70ー大阪万 博の記憶とアート」展	7/25	共催	無料	100	100	100.0%
74	展示	展示室	新宮晋展	8/5 ～ 9/13	主催	開催中止	-	-	-
75	展示	展示室	豊中市所蔵作品展2020 田中健三 アートとデザインの軌跡	8/4 ～ 8/31	共催	無料	1,050	464	44.2%
76	展示	展示室	似顔絵グランプリ	3/9	共催	開催中止	-	-	-
77	展示	展示室	【代替公演】 KAYO SATO プレゼンツ はなむけ展	3/23 ～ 3/30	主催	無料	280	193	68.9%

4.施設の運営に関する業務

①貸館事業（施設の提供）

ア) 施設利用状況表

（開館日数、利用日数、利用率、利用件数、区分・時間稼働率、利用人数）

1) 4ホールの利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能 区分	利用区分	区分稼働率	利用人数
1 大ホール	235	121	98	51.5%	705	298	42.3%	39,331
2 中ホール (アクア文化ホール)	234	137	123	58.5%	700	301	43.0%	22,190
3 小ホール	250	205	227	82.0%	736	464	63.0%	18,823
4 ローズ文化ホール	224	125	116	55.8%	553	258	46.7%	13,565
合 計	943	588	564	平均利用率	2,694	1,321	平均稼働率	93,909
				62.0%			48.7%	

2) 文芸センター諸室の利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能 区分・時間	利用 区分・時間	区分稼働率	利用人数
1 展示室	253	142	72	56.1%	759	372	49.0%	12,339
2 多目的室	257	170	157	66.1%	771	367	47.6%	14,049
3 練習室1	260	257	561	98.8%	3,380	1,880	55.6%	3,039
4 練習室2	259	247	526	95.4%	3,367	1,866	55.4%	4,755
5 練習室3	260	256	552	98.5%	3,380	1,788	52.9%	1,980
6 ミーティングルーム1	258	204	270	79.1%	3,354	1,223	36.5%	2,043
7 ミーティングルーム2	257	195	248	75.9%	3,341	1,176	35.2%	1,391
8 ミーティングルーム3	256	188	196	73.4%	3,328	1,340	40.3%	1,308
9 スタジオ	260	260	693	100.0%	3,380	1,789	52.9%	1,131
10 和室	262	185	206	70.6%	3,406	1,101	32.3%	1,007
合 計	2,582	2,104	3,481	平均利用率	28,466	12,902	平均稼働率	43,042
				81.4%			45.8%	

3) アクア文化ホール諸室の利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能 時間	利用時間	区分稼働率	利用人数
1 音楽室	260	258	674	99.2%	3,380	2,094	62.0%	5,128
2 練習室	259	258	718	99.6%	3,367	2,076	61.7%	4,557
合 計	519	516	1,392	平均利用率	6,747	4,170	平均稼働率	9,685
				99.4%			61.8%	

4) ローズ文化ホール諸室の利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能 時間	利用時間	区分稼働率	利用人数
1 会議室	256	60	53	23.4%	3,120	491	15.7%	48

※1) 新型コロナウイルスの影響によるキャンセルは、各施設とも利用可能区分・時間から除外して計算。

※2) ローズ文化ホール会議室の利用人数について…ホール控室として使用された際の人数は計上せず。

イ) 施設来館者数集計表

施設名/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
豊中市立文化芸術センター	貸館利用者数													
	大ホール	245	0	15	762	4,317	2,640	5,403	5,401	3,474	4,486	3,355	9,233	39,331
	中ホール	0	0	622	1,333	1,361	1,526	1,992	4,289	1,865	2,028	3,271	3,903	22,190
	小ホール	86	0	518	1,284	1,644	1,496	2,270	2,213	2,266	1,691	2,246	3,109	18,823
	展示室	0	0	5	398	633	385	1,310	3,189	230	1,199	1,709	3,281	12,339
	多目的室	45	0	160	581	406	1,100	1,639	3,576	403	1,043	1,515	3,581	14,049
	練習室1	37	0	212	262	316	270	410	308	407	264	278	275	3,039
	練習室2	78	0	232	534	547	498	538	433	508	424	434	529	4,755
	練習室3	12	0	94	152	250	165	232	228	250	216	181	200	1,980
	MTGルーム1	39	0	133	179	154	200	227	270	210	179	226	226	2,043
	MTGルーム2	17	0	59	97	82	120	162	162	131	157	158	246	1,391
	MTGルーム3	12	0	65	112	131	121	98	116	179	110	140	224	1,308
	スタジオ	19	0	94	112	122	115	137	108	110	78	107	129	1,131
	和室	17	0	132	101	78	63	114	76	72	65	117	172	1,007
	キッズルーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アクア音楽室	24	0	426	508	555	603	645	567	409	358	494	539	5,128
	アクア練習室	28	0	315	452	427	469	565	503	419	424	446	509	4,557
	使用承認申込者数	305	303	1,142	764	796	752	763	742	725	611	731	707	8,341
	チケット購入者数	38	22	49	123	176	357	916	409	216	257	440	285	3,288
	友の会入会者数	8	12	15	33	143	19	3	15	3	6	0	0	257
	カフェ利用者数	5	0	0	0	313	464	573	661	347	365	558	92	3,378
	小 計	1,015	337	4,288	7,787	12,451	11,363	17,997	23,266	12,224	13,961	16,406	27,240	148,335
ローズ文化ホール	貸館													
	ホール	483	0	448	659	1,466	1,272	1,143	1,006	1,273	793	3,309	1,713	13,565
	会議室	0	0	3	11	0	14	9	6	0	0	0	5	48
	使用承認申込者数	39	22	52	43	34	40	33	25	28	15	24	18	373
	チケット購入者数	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	1	1	6
	小 計	522	22	503	713	1,502	1,326	1,186	1,037	1,302	808	3,334	1,737	13,992
合 計		1,537	359	4,791	8,500	13,953	12,689	19,183	24,303	13,526	14,769	19,740	28,977	162,327

ウ) 各施設の利用状況について

1) 文化芸術センター

新型コロナウイルス感染症の影響により、通年では大ホール利用率が 51.5%、小ホール 82.0%と前年に比べると大幅に減少したが、下半期の平均利用率は大ホール 61.0%、小ホール 93.6%と一定水準まで回復することができた。とりわけ小ホールの下半期平均利用率 9 割超の数値はコロナ禍における実績として特筆すべき成果だと考える。展示室・多目的室の利用率も同様に 66.1%と前年数値を下回る結果となった。なお、下半期 6 か月の平均利用率は 74.9%と昨年度利用率に 1.7%差まで回復している。展示室・多目的室を除く諸室の平均利用率 86.5%と前年度 (92.7%) より若干減少したが、一定水準を維持することができた。ただし、平均稼働率では本年度 45.1%と昨年度より 15.5%減少する結果となった。

施設サービス業務では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設利用ガイドラインを独自に作成し、お客様に安心してご利用いただけるように努めた。今後も日々変動する感染状況の推移を十分に注視しながら、各種基準やガイドラインの更新に努めることで、安全で適切な施設サービスを提供していきたい。また、本年度末の取り組みとして利用者の利便性向上や事務効率の向上を意図し高機能クラウドサービス型施設予約システムの新規入替を実施した。

2) アクア文化ホール（中ホール）

ホール利用率は新型コロナウイルス感染症の影響で 58.5%と低水準で推移したが、キャンセル前の参考値として、88.9%と前年度 (89.1%) と同等の高い数値を記録している。なお、2021 年 7 月から 2022 年 3 月まで改修工事を予定しているが、改修後を視野に改めてホールの魅力や施設機能を十分に発信することで、高い利用率の維持とあわせて多くの市民に快適にご利用いただけるように準備を整えていきたい。

3) ローズ文化ホール

ホールの利用率は 55.8%と前年度数値 78.7%より大幅に減少した。コロナウイルスに起因するキャンセルが大きく影響した。キャンセル前の数値は 80.2%と対前年を上回り、また、会議室も同様に利用率 23.4%と前年度実績 38.4%より大幅に減少したが、キャンセル前の数値が 35.9%と微減であったことから、総じて新型コロナウイルスの影響による貸館催事の中止が相次いだための結果と考える。

施設維持管理の面では、平成元年の供用開始から経年劣化が進み、舞台・音響・照明機器、設備等において、交換部品の供給を受けられない事象が多数発生している。また、ホール座席面の劣化や洋式トイレの数量が圧倒的に不足している点など、利用者の利便性や安全性の確保とあわせて、施設貸出時の故障発生リスク回避等を十分に考慮し、早期の施設および設備の大規模改修、修繕対応が必要であると考えている。

②情報提供事業

ア) 地域文化芸術情報の受発信

地域文化芸術情報の受発信の取り組みとして、館内チラシ Rack を利用し、貸館催事や主催事業だけでなく、他館の文化情報や催事情報を積極的に配架することで、広域における文化芸術情報発信機能の拡大に努めた。

イ) ホール情報紙やホームページを通じた施設情報の提供 等

自主事業公演情報紙「aperitif (アペリティフ)」の発行や Facebook や Twitter など SNS を利用した情報発信を積極的に行った。また市民ホール公式 YouTube アカウントも開設し、レジデント・アーティストによる動画や自主事業の出演者などへのインタビュー動画などを配信した。公式ホームページ上でもタイムリーに貸館催事情報を掲載することで、地域文化芸術情報の発信に努めた。また、文化芸術センターおよびローズ文化ホール館内ではチラシ Rack の充実を図ることで、地域の文化情報受発信拠点としての機能向上を図った。加えて、文芸センターにおいては共有ロビー壁面にポスターの掲示を開始。

その他の情報発信として、積極的なマスメディアへの情報提供による新聞や雑誌などでのパブリシティ、市内公共施設へのチラシ、ニュースリリースの発行、一般紙、地域紙への広告出稿など、多様なメディアを活用した施設情報や文化情報の発信を行った。特に、関西で活躍する若手クラシック音楽アーティストを紹介するフリーペーパー「Opus」(現在、休刊中)では、創刊号から3号連続で当センターレジデントアーティストを紹介していた。

③相談事業

ア) 施設利用に関する相談・アドバイス業務の実施

イ) 専門人材によるディレクターズ・オフィス機能の活用

相談・見学会参加者数

ホール利用者や希望者を対象とした相談・見学会を今年度も実施した。新型コロナウイルスの影響で一部の回で中止となったが、文化芸術センターでは21組41名の参加があった。例年通り、見学・相談会の日時を設定し、希望者を募集。当日は舞台や楽屋回りの見学後に大阪共立の常駐技術員が各機構や舞台機能について説明する相談会を実施した。また、急な見学希望があった場合も、施設稼働に余裕がある限り対応を行った。

なお、ローズ文化ホールでは見学希望があれば随時受け付けるようにしているが、今年度は特に相談・見学会としては開催しなかった。

見学相談会	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数
文化芸術センター	3	5	0	0	3	6	0	0	1	4	2	3

見学相談会	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数
文化芸術センター	3	5	1	1	3	4	1	6	3	5	1	2	21	41

ウ) アーティスト・アーカイブス（登録アーティスト制度）の活用 等

令和元年度よりレジデント・アーティスト育成事業「とよなか ARTS ワゴン」を本格的に始動し、令和2年度はオーディションによって選ばれた5組のレジデント・アーティストによる活動に取り組んだ。しかしながら、新型コロナウイルスの影響を受け、アートマネジメント講座の中止やアウトリーチの実施が困難だったこともあり、2年計画で進める豊中とアートをつなぐ役割を果たしうる人材の育成輩出や、豊中市と文化芸術センター独自の「アーティスト・アーカイブス（とよなかアーティストバンク(仮)）」へ登録するスキームについては、現在構築途中の状況である。1期生3組は令和3年度もレジデント・アーティストとして活動し、令和4年度に、2期生2名に関しては令和5年度以降に、「アーティスト・アーカイブス（とよなかアーティストバンク(仮)）」への登録を計画している。なお、アーティスト・アーカイブスのWEB等を活用した運用は令和4年度よりの開始に向け現在、準備を行っている。

④「友の会」運営業務

文化芸術センター友の会「club CaT(クラブキャット)」本年度の会員入会数は934名（令和3年3月末）となった。指定管理期間最終年度としての目標値1,500名の達成には至らなかった。特に会員数が増加したのは11月の伝統芸能公演の際であった。次年度以降もコロナ禍の影響が続くことが予想されるが、質の高いかつプレミアムな公演プログラムの提供や優待制度、情報提供を充実することで、会員増と集客拡大を図っていきたい。

年度会員数	934名（令和3年3月末時点）
会員特典等	●主催公演チケットにおける会員先行発売期間の設定 ●主催公演チケットにおける会員価格の設定 ●ホール自主公演情報誌「aperitif（アペリティブ）」の送付 ●近隣店舗の協力による優待サービスの提供

⑤広報・宣伝事業

ア) 施設WEBページの運営

文化芸術センターおよびローズ文化ホールWEBサイトアクセス状況は以下の通り。

主な評価項目	内容および数値（いずれも文化芸術センターおよびローズ文化ホール）
対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
ユーザー数	124,925 ユーザー（前年 236,266 ユーザー） ※当該WEBサイトに訪れた人の数
セッション数	223,117 回（前年 408,174 回） ※ユーザーがWEBサイトに訪問した数
ページビュー数	647,115PV（前年 1,093,828PV） ※ユーザーがサイト内のページを閲覧した数

イ) 情報誌、催事情報カレンダーの作成・発行

貸館催事の案内を含むホール情報誌「aperitif (アペリティフ)」について、2020年4月・5月号からは、より手に取りやすく、かつ多くの情報を掲載するため判型仕様をB5サイズの16ページとしデザインも大幅にリニューアルを行った。自主事業の開催情報以外にも、アーティストインタビューやコラム、公演アーカイブ、施設機能紹介など、幅広い情報を掲載することで、多くの市民が楽しめるような紙面構成に努めた。

【情報誌、催事情報カレンダーの発行部数】

発行物	発行日	発行部数
aperitif vol.23	2020. 5/25	6,000 部
aperitif vol.24	2020. 7/25	5,000 部
aperitif vol.25	2020. 9/25	5,000 部
aperitif vol.26	2020. 11/25	5,000 部
aperitif vol.27	2021. 1/25	5,500 部
2021 年度公演ラインナップ	2021. 2/1	5,000 部
aperitif vol.28	2021. 3/25	5,000 部

ウ) 施設パンフレット、利用案内リーフレットの作成

施設パンフレットは、引き続き継続して使用している。利用案内リーフレットは、使いやすさを重視して更新を行っている。また、展示室・多目的室の使い勝手の良さを示し、利用を促進するために、施設機能の紹介に特化した利用案内を別途作成し活用を図っている。

エ) チラシ・ポスター等の作成

自主事業公演ごとにチラシやポスター作成のほか、自主事業公演ラインナップリーフレットや club CaT（友の会）会員入会促進チラシも作成した。本年度からは文芸センターエントランス壁面にポスター掲示も開始した。

オ) フェイスブック・ツイッターなど SNS による広報・宣伝活動

オフィシャル WEB ページの更新、Facebook（フェイスブック）や Twitter（ツイッター）など SNS を利用し、施設や事業の広報・宣伝活動をより積極的におこなった。本年度は特に Twitter での発信強化を意図し、更新頻度を向上させるとともに内容もチケット販売情報以外にリハーサルの様子など、視覚的にも興味を惹きやすいような内容を意図して多くの配信を行った。有料 Facebook 広告は、豊中周辺に居住するオンラインユーザーへの訴求を意図し、ターゲットを絞った発信で広報効果の向上を図った。また、本年度より動画配信サイト「YouTube」の利用も開始した。今後は、Twitter、Facebook、instagram、YouTube の4媒体のそれぞれの特徴を活かした発信方法を検討していく。

フォロワー数は対前年比で Twitter は 45%増、Facebook は 25%増につながっており、

今後も新たな広報ツールとしてさらなる拡大を目指す。SNS を活用した活動内容は次表の通り。

※数値は一部を除いて令和2年4月から令和3年3月末までのもの

SNS ツール	広報・宣伝活動の概要
Twitter	ツイート数：439 ツイート 掲載内容：主催公演情報、チケット販売情報、イベントリポート 等 フォロワー数：1,210
Facebook	投稿数：351 件 掲載内容：主催公演情報、チケット販売情報、イベントリポート 等 いいね！数：1,111 フォロワー数：1,325 人 チェックイン数：9,455 人（総数） レビュー数：50

【パブリシティによるメディア掲載、その他広告出稿】

本年度も継続してメディアへの積極的なアプローチによるパブリシティ効果の向上を図った。また、昨今トレンドとなってきたネットマガジンへの積極的なプレスリリースの発信により、特集ページ掲載などの成果につながっている。また、関西にあるホール全般を対象にした情報誌「MEG WEST」が本年度より創刊され、本年度は自主事業の案内をまとめて掲載。次年度以降も、より積極的なプレスリリース発信により多くのメディアへの掲載を行い、豊中市立文化芸術センターをアピールできる広報展開をしていく。

媒体名(パブ掲載)	発行日(号)	掲載内容
MEG WEST VOL.01	2020.10.18	文芸センター自主事業案内
OPUS Vol.1	2020.9 月	レジデントアーティストインタビュー
OPUS Vol.2	2020.11 月	レジデントアーティストインタビュー
MEG WEST VOL.02	2020.12.20	文芸センター自主事業案内
MEG WEST VOL.03	2021.2.21	文芸センター自主事業案内
OPUS Vol.3	2021.3 月	レジデントアーティストインタビュー

5.施設及び設備の維持管理に関する業務

①舞台の管理に関する業務

文化芸術センター・ローズ文化ホール共に、経験豊富な舞台技術担当者による日常保守点検及び定められた回数の定期保守点検を保守点検業者及び設備・機器メーカーと連携を図るとともに、メンテナンス担当者と綿密な相談のうえで滞りなく実施した。小ホールに関しては緊急事態宣言下での閉館時以外は、非常に高い稼働率を維持しており、休館日に定期保守点検を実施するなどして規定の回数を実施している。また、推奨交換時期に来ている機器に関しては、保守点検業者と相談し定期点検時に交換作業を行うことでコスト縮減に努めた。

アクア文化ホール（中ホール）及びローズ文化ホールについては、老朽化による不具合が多く発生しているが、軽微なものは担当者が修繕を行うことで施設および設備の長寿命化を図っている。対応が難しい程度のもや計画的な修繕が必要と考えられる案件については不具合・修理案件として適宜報告を行った。新型コロナウイルス感染防止対策を新たに設定し、常に最新の情報を得ながらホール利用者に安全に使ってもらえるよう舞台管理に努めた。

②施設および設備の維持管理に関する業務

豊中市市民ホール指定管理者業務仕様書に定められた施設および設備の維持管理に関する業務を行った。各業務の概要は以下の通り。

○設備維持管理

竣工より5年目となり、機器、消耗品関係の交換を適宜実施した。発生した案件は都度運営部門スタッフに共有するとともに、迅速な“報連相”に心掛けている。また、毎月実施の市モニタリングにはアクア文化ホール、文芸センターの設備責任者が毎回出席することで、市および指定管理者内での適切な情報共有とあわせて、施設の一体的な維持管理を徹底している。

次年度以降も引き続き安心・安全に配慮した施設維持管理とあわせて、設備機器等の最適化運用を行うことで環境負荷の低減に努める。また次年度より伝統芸能館および市民ギャラリーの2施設が加わるため、各施設の機器設備特性や現状課題等を十分に把握し、適正な施設維持管理に努めたい。

○清掃業務

本年は、新型コロナウイルスの影響で休館期間もあり異例の年度となった。施設の再開にあたっては、利用後の消毒清掃を徹底し感染拡大防止に努めることで、利用者が安心して来館利用できるよう環境維持を行った。引き続き新型コロナウイルスによる影響が懸念されるため、感染リスクを最小限にとどめるよう努める。

○保安警備業務

新型コロナウイルスの影響により、施設営業時間やイベント開催時間の変更などが多数発生し、扉やゲート開閉時間の変更対応等の影響を受けたが、適宜、協力会社と連携による柔軟な対応に努めた。全体を通じて、警備業法に則った法令順守を基本とし、毅然とした態度と良識ある公正な行動により信頼される施設保安警備業務を実施した。

また、緊急時や非常時における対応では、消防訓練の実施をはじめ、さまざまなケースを想定した訓練やシュミレーションを繰り返すことで、引き続き有事に対する万全の保安体制の維持構築に努める。

あわせて、次年度から管理がスタートする豊中市立伝統芸能館・豊中市立市民ギャラリーの2施設については、機械警備を提案導入することで、人的・機械的の両方面から施設の安全管理を遂行していく。日常業務においても、職員間で常に情報共有と最新の情報への更新を行うことで、イレギュラー事象へも遅滞なく対応が出来るよう体制を構築する。

③行政財産の使用について（コミュニケーションロビー ならびにビュッフェの活用）

事業者への運営委託によるコミュニケーションロビー内飲食施設「健康カフェ・メニューエット」については、4月の緊急事態宣言発出にともなう休館とあわせて、約3か月間営業を休止した。7月からは、消毒作業や飛沫対策、客席数の間引き減など新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底し、時短営業によるサービス提供を再開した。しかし、年度末には事前予告なく事業者の独断による営業終了、事業撤退となり、利用者はじめ多くの方々にご不便とおかけしてしまった。次年度以降、新たな事業者によるカフェサービスの提供を計画している。これまでの課題を改善し、施設を印象づけるパブリックスペースとしての有効的な活用や常に文化と芸術のイメージあふれる空間づくりを目指したい。

コミュニケーションロビーの開放時間はこれまで通り原則9:00～20:00としたが、施設の休館や利用制限にあわせて、適宜開放時間の調整を行った。なお、大ホールホワイエ1階ビュッフェについては、今年度はサービス提供を取りやめた。

④託児サービスおよびキッズルーム

キッズスペースについては、本年度は4月の緊急事態宣言発出にともなう休館、また以降の感染拡大防止を意図し、原則一般開放を行わなかった。ただし、開館中に授乳スペースでお困りのお客様には当館スタッフ同行の上で適宜ご利用いただいた。お客様からは、キッズスペースを利用したいとの声は窓口で何度か寄せられている。今後も日々変動する感染状況の推移を十分に注視しながら、できる限り施設機能の有効活用に努めたい。

6. 運営組織についての報告（職員の研修の取り組みなど）

本年度は、年間を通じて研修やセミナーの中止や延期が相次いだため、当初計画していた職員研修プログラムの実施や外部研修等への参加機会が減少した。外部研修では、今年度文化芸術センターに入職した事業課職員が、「りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修2020」に参加した。その他、Zoom等のオンラインツールを活用した社内研修等の実施参加を通じて、職員スキルの向上や体制強化に努めた。

また、毎年度実施している大学生を対象としたインターンシップは8月の受け入れを中止とし、3月に4名を受け入れた。8月中止の代替の取り組みとして「アートマネジメント講座（2日間）」への参加機会を提供した。

市内外からの施設見学、ヒアリング依頼については例年に比べて少なかったが、次年度以降に開館を予定している近隣ホール設計者や管理者について2件受入対応を行った。

職員参加による研修、会議参加については次表の通り。

[教育訓練、研修セミナー等の実施]

■文化芸術センターおよび文化芸術センター				
	内 容		実施日	開催場所（参加者数）
安 全	1	消防訓練	2020/6/9	中央公民館と合同実施
	2		2020/11/17	
研 修 ・ 会 議	3	人権問題事業者研究会	2020/9/17	人権平和センターにて（8名）
	4	人事考課研修	2019/10/8	ZOOMにて（1名参加）
	5	新チケット販売システム研修	2021/1/14	文化芸術センター
	6	知的財産権取扱い研修	2021/2/24	文化芸術センター
	7	新予約システム研修	2021/2/25・26	文化芸術センター
	8	りゅーとびあ音楽アーツ・マネジ メント研修 2020	2020/8/26～29	新潟市 りゅーとびあ（1名）
	9	大阪府公立文化施設協議会 ブロック会議	2021/3/10	高槻現代劇場（2名）
■ローズ文化ホール				
安 全	1	消防訓練	2020/7/31	庄内体育館と合同実施
	2	救急救命・AED 講習	2020/11/30	
	3	防火防災管理者講習	2020/12/12～13	阿倍野防災センター（1名）
研 修	4	公文協人材育成研修会	2020/11/30	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（1名）
	5	公立文化施設運営全般研修	2021/2/8	吹田市メイシアター（1名）
	6	チームリーダー研修	2020/11/11	施設内にて ZOOM（1名）
	7	二期目開始にあたる研修	2021/2/6	文化芸術センター（4名）
	8	新予約システム研修	2021/2/25～26	文化芸術センター（4名）
	9	新予約システム研修(パートスタ ッフ用)	2021/3/12&3/17	文化芸術センター（4名）

7. 収支報告書

豊中市市民ホール 令和2年度収支報告書

【収入の部】

(単位:円 税込)

費 目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)－(A)	備 考
指定管理料	325,096,151	325,096,151	0	
利用料金(文芸)	120,528,000	76,668,078	△ 43,859,922	施設利用料金、付帯設備利用料金
利用料金(アクア)				
利用料金(ローズ)				
自主事業収入	64,167,000	28,119,373	△ 36,047,627	チケット収入、助成金収入 等
友の会会費収入	7,741,000	1,130,500	△ 6,610,500	年会費収入
その他収入	2,037,000	1,115,047	△ 921,953	チケット郵送手数料、コピー代 等
助成金収入	0	5,483,028	5,483,028	雇用調整助成金
収入合計	519,569,151	437,612,177	△ 81,956,974	

【支出の部】

費 目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)－(A)	備 考
人件費	117,282,000	117,678,000	396,000	給与、手当、通勤費、社会保険料、福利厚生費 等
物件費(事業費)	99,408,000	56,552,851	△ 42,855,149	出演料及び委託料、宣伝印刷費、会場費 等
物件費 (施設 維持 管理 経費)	修繕料(文芸・アクア・ローズ)	9,000,000	8,878,927	△ 121,073 ※精算対象(精算の部参照)
	光熱水費(文芸)	48,128,000	35,818,410	△ 12,309,590 ※精算対象(精算の部参照)
	光熱水費(アクア)	12,322,963	7,305,642	△ 5,017,321
	光熱水費(ローズ)	6,735,462	5,903,413	△ 832,049
	設備・警備・清掃管理業務費	83,836,909	89,993,838	6,156,929 臨時警備費、廃棄物処理費 含む
	舞台操作・保守管理費	94,589,447	94,714,278	124,831 文芸・アクア・ローズ舞台消耗品 含む
	アクア維持管理費(按分)	14,137,037	12,434,938	△ 1,702,099
	ローズ維持管理費(按分)	16,106,852	14,546,371	△ 1,560,481
物件費(施設維持管理経費 計)		284,856,670	269,595,817	△ 15,260,853
物件費 (事務 経費)	旅費交通費	101,851	355,570	253,719
	会議費	55,000	4,431	△ 50,569
	消耗品費	3,300,000	2,628,009	△ 671,991 一般管球、消耗品 等
	印刷製本費	1,320,000	1,756,682	436,682 各種用紙、催事案内、コピー代 等
	通信運搬費	990,000	2,058,387	1,068,387 電話、インターネット、郵送代 等
	広告宣伝費	5,940,000	2,353,566	△ 3,586,434 情報紙、ホームページ運営費 等
	使用料及び賃借料	4,624,889	11,092,785	6,467,896 コピー複合機、パソコン、チケットシステム 等
	備品費	305,556	699,600	394,044
	保険料	814,815	1,004,350	189,535 施設賠償責任保険、興業中止保険 等
	燃料費	244,444	25,654	△ 218,790
	負担金	101,852	76,700	△ 25,152 公文協会費
	手数料	122,222	103,444	△ 18,778 金融機関手数料
	公租公課	101,852	64,000	△ 37,852 収入印紙
物件費(事務経費 計)		18,022,481	22,223,178	4,200,697
支出合計	519,569,151	466,049,846	△ 53,519,305	
収 支	0	▲ 28,437,669		

【精算の部】

項目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)－(A)	備 考
【戻入】豊中市への精算金	0	-12,309,590		文芸センター光熱水費良化分
【戻入】豊中市への精算金	0	-121,073		修繕費良化分
【戻入】豊中市への精算金	0	-4,278,947		学校減免利用補助金良化分
【戻入】経費良化分	0	-17,792,186		アクア光熱水費・自主事業収支・人件費良化分
【補填】利用料金減収補填	0	24,439,860		市設定基準値未達額
【補填】利用料金還付相当額	0	38,363,150		新型コロナウイルスに起因するキャンセル
収 支	0	28,301,214		

(参考) 利用料金収入月別一覧 (令和2年4月～令和3年3月)

単位: 円 税込

施設名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
文化芸術センター	661,550	-93,579	1,767,313	3,320,591	7,941,410	4,662,024	
ローズ文化ホール	677,655	10,216	222,770	337,825	834,100	558,030	
小 計	1,339,205	-83,363	1,990,083	3,658,416	8,775,510	5,220,054	

施設名/月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
文化芸術センター	7,945,323	7,425,175	8,225,371	6,288,780	9,114,098	11,383,258	68,641,314
ローズ文化ホール	606,109	782,029	1,076,946	542,150	1,399,074	979,860	8,026,764
小 計	8,551,432	8,207,204	9,302,317	6,830,930	10,513,172	12,363,118	76,668,078

(参考) 友の会会費収入一覧 (令和2年4月～令和3年3月)

単位: 円 税込

友の会会費収入	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	40,500	12,000	9,000	29,000	51,000	183,000	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	60,000	4,500	31,000	79,500	410,500	220,500	1,130,500